

事業名	代表者所属	津山工業高等専門学校
09KJ-011	代表者	教授 佐々井 祐二
天体観測会ー君も未来のガリレオだ！	開催地	岡山県
	助成金額	10万円

活動概要

日時： 2009年6/1,7/22,8/3,11/20,2010年1/29の5回

場所： 津山工業高等専門学校

対象： 小学校4年生から中学校3年生

参加者(人)： 約135人

内訳(児童・生徒；73人)(保護者・一般；約62人)

内容： 天体観測会

- (1) 口径35cm望遠鏡で土星を見よう
- (2) 太陽望遠鏡で日食を見よう
- (3) 手作り望遠鏡で月を見よう
- (4) クジラ座のミラと木星を見よう
- (5) 地球に接近した火星を見よう

公開講座；5件



第2回 7/22 太陽望遠鏡で日食を見る参加者



第2回 7/22 モニタ画面の日食と参加者



第4回 11/20 手作り望遠鏡を試す参加者



第5回 1/29 火星を観察する参加者

事業の目的・ねらい

今年 2009 年は世界天文年です。イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を、夜空に向け、宇宙への扉を開いた 1609 年から 400 年後の節目の年です。また、今年は 7 月 22 日に程度の大きい日食があり、未来を担う子供達に天文への興味を喚起する絶好のタイミングです。本事業は、本校の口径 35cm シュミットカセグレン式望遠鏡や口径 4cm 太陽望遠鏡などを用いて、岡山県津山地域の子供達に天体観測の面白さを体験してもらうことを目的としています。

事業の概要 担当者:教員 2 名(佐々井祐二、最上 勲)、職員 1 名、補助学生 5 名

第1回 天体観測会ー口径35cm望遠鏡で土星を見ようー

6月1日(月)19:15~20:45 無料: 参加者:16人+保護者・一般参加者約15人
晴天で、土星や月、春の大曲線、春の大三角、球状星団 M13 などを観望しました。

第2回 天体観測会ー太陽望遠鏡で日食を見ようー

7月22日(水)10:00~12:00 有料:日食観測メガネ 290円 参加者:31人+保護者・一般参加者約30人
梅雨がなかなか明けない中、食分 0.822 の部分日食を津山で観望することができました。参加者は「欠けている！」と大感激、太陽メガネ、H α 太陽望遠鏡などいろいろな観察方法を試しました。11時02分頃には飛び入りも加わり、70名近い参加者が、最大食を迎え細くなった太陽を見ながら「少し暗くなったね」などと大興奮でした。また、太陽望遠鏡で撮影している映像をモニタ画面にも映しましたので、参加者は日食の拡大画面を観察することができました。

第3回 天体観測会ー手作り望遠鏡で月を見ようー

8月3日(月)18:30~20:45 有料:組み立て望遠鏡キット 1,890円 参加者:12人+保護者6人
約1時間の熱心な作業の後、組み立てた望遠鏡を三脚に接続して完成しました。しかし、中国地方は梅雨が明けておらず、輪が真横に向いた土星や月齢 12.4 の月の観望はお預けとなりました。

第4回 天体観測会ークジラ座のミラと木星を見ようー

11月20日(金)18:30~20:00 無料: 参加者:4人+保護者等4人
曇天続きで、参加者は 15分程ベガなどの恒星を観望し、クジラ座の方向を確認しました。曇天メニューとして、プラネタリウム、卒業研究生が「津山高専における気象観測システム」と撮影天体写真を紹介しました。

第5回 天体観測会ー地球に接近した火星を見ようー

1月29日(金)18:00~20:30 無料: 参加者:10人+保護者7人
参加者はペーパークラフト月球儀を熱心に工作し完成させました。また、2年2ヶ月ぶりに接近して輝く火星、明るい月、木星、オリオン大星雲 M42、すばる M45、アンドロメダ大銀河 M31、2重星ミザールなどを観望しました。

成果・効果 感想の一部を紹介します。

- ① きれいな星が見えた、すごく良い経験ができた、星が大好きなので楽しかった
- ② とても珍しい日食をみられてよかった(複数)、金環日食をみたい、ダイヤモンドリングをみたい
- ③ もっと晴れた日に星を見たかった、星の探し方を知りたい
- ④ 値の張りそうな望遠鏡があったから月や惑星がとてもよく見えた
- ⑤ 私の大好きな「すばる」や「オリオン座」を望遠鏡で見られて最高です